



<今月のご案内>

黒松内の森林療法を、一緒に盛り上げていきませんか？



<癒しのブナ林楽しみ方講座>

黒松内で実践している森林療法を、実際に野外で、そして座学でも、楽しみながら学ぶ講座です。昼食には「黒松内・夏の健康メニュー」をご用意しています。お楽しみに！

【日 程】7月13日（日）9:30～16:00（予定）

【集 合】ブナセンター

【参加費】800円 【定 員】20名程度

【申込み】前日17:00までにブナセンターへ電話

【持ち物】外で活動できる服装、汚れてもいい運動靴、虫よけ、リュック、水筒

ブナセンターは(月)(火)休館です 祝日は開館しています

～夏休みの道具貸出し～

夏休みの定番！魚とりや貝化石とりに活躍する道具を貸し出しています。

※ヒグマの出没状況により貸出しできない可能性もあります。

★魚とりの道具

箱メガネ、網、バケツ

★貝化石の道具

ドライバー、くぎ、スコップ、クリーニング用ブラシなど



つかまえた魚や気になる貝化石があれば、ぜひブナセンターへお越しください！

2025



貝化石 NEWS

「夏だから川に貝化石堀りに行こうかな」と思えるのは黒松内ならではの。このまちの貝化石に関する最新トピックスをご紹介します。

Topic 01 町内小学生より貝化石を寄贈頂きました

昨年、黒松内小学校6年生の化石堀りの授業の際、寄贈して頂いた2つの珍しい貝化石をご紹介します。実物はブナセンターに展示してありますので、ぜひ見に来てくださいね。

①カメハウスキチョウチン〈腕足類〉



約6億年前から世界中の海岸に生息している腕足類に分類されています。腕足類は二枚の殻を持ちますが、貝ではありません。2024年に寄贈されたカメハウスキチョウチンは、ブナセンターで所蔵する最大のサイズです。

← 約 8 cm →

②ヌノメアサリ〈マルスダレガイ科〉



殻の表面は、縦の筋と横の筋が細かく交差していて布目のようです。この貝は、1989年に黒松内の化石を調査した論文※に記録があるのみで、現物は今までブナセンターにありませんでした。

← 約 3.5 cm →

※鈴木明彦(1989)「西南北海道黒松内地域の瀬棚層の貝類化石群」地球科学43巻5号p.277-289

発見した方は
ブナセンターまで
ご一報を！

Topic 02 WANTED!

この貝探しています ↓

マテガイの仲間〈マテガイ科〉

1989年に黒松内で発見されていますが、所蔵はありません。20年以上前、小学生が堀り出したのを、化石ボランティアの亀水さんがいちど見たきりとのこと。

特徴はしかくいこの形！前後に長く伸びた長方形。殻の表面は平ら。



←参考サイズ 40～100mm→

Topic 03 黒松内の化石が教科書に! (R7年度発行)

中学1年生向けの教科書『東京書籍 新編 新しい科学I』に、本町の瀬棚層(約100万年前の地層)から産出した絶滅種《トウキョウホタテ》の写真が掲載されました。

化石になった生物がどのような生活をしていたかを考えることで、その時代の環境が推測できます。トウキョウホタテは、当時の環境を探る手がかりである「示相化石」の例として登場しています。



貝化石を掘って手にしたら、当時の海を想像するもよし、100万年の時の流れを感じるもよし。

この夏は、ぜひ貝化石を堀りにいってみましょう! (※ヒグマの出没状況によりご案内できない可能性があります。詳細はブナセンターまで)

発行所: 黒松内町ブナセンター

〒048-0101 北海道寿都郡黒松内町字黒松内512-1

TEL 0136-72-4411 FAX 0136-72-4440

MAIL bunacent@host.or.jp HP <https://bunacent.host.jp>

FB <https://www.facebook.com/kuromatsunai.bunacent>



歌オブナ林は2028年に天然記念物指定100周年を迎えます

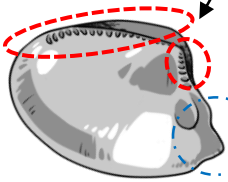


FacebookのQRコードはこちら

この貝探しています！

その理由

- ★ 記録や記憶に残っているが、現物がない。
- ◆ ブナセンター で一個しか所蔵していない。
- 不完全な個体しかない。

貝の写真	種名など	貝の特徴
	オオキララガイ ◆ ● 参考サイズ 約25mm	・表面のたて筋（放射肋）が『人』の字のように広がる。 ・内側の上部に細かな歯がずらりと並んでいる。  ・貝殻の端につまみ出したようなでっぱりがある。（所蔵している貝では欠けている）
	アラスカシラオガイ 〈エゾシラオガイ科〉 ◆ 参考サイズ 25～30mm	・殻は厚く少し横長の三角形。 ・殻の表面中央部にふくれあがった横の筋（成長肋）がみられる。
	マテガイの仲間 ★ 参考サイズ 40～100mm	・前後に長く伸びた長方形の貝。 ・殻の表面は平らだが、成長のあとを示すしま模様が見られる。
	ロウイロミノガイ ◆ 参考サイズ 約20mm	・片方の辺が短く、もう片方の辺は長い変形の扇型。 ・殻は薄く、細かなたての筋（放射肋）が35本前後伸びている。
	アイヌノハナガサ 〈ユキノカサガイ科〉 ◆ 参考サイズ 約8mm	・低い傘型の小さな貝。 ・現生のアイヌノハナガサは全体に赤みをおびている。 ・瀬棚層から見つかった化石は、100万年たっているにもかかわらず色が残っている可能性がある。

★見つけた方はブナセンターにお知らせください。
★写真を撮らせて頂いたり、寄贈をお願いすることがあります。